

# 読売日本交響楽団

オーケストラ・シリーズ ～珠玉のオーケストラ名曲選～

## ボレロ モルダウ

威風堂々

同じリズムが繰り返す名曲「ボレロ」。  
次第に高揚し、興奮のクライマックスへ！

円熟を極めたタクトで魅了する  
国際的に活躍するマエストロ

指揮：**尾高 忠明**

(読響・名誉客演指揮者)

©Martin Richardson

©読響



管弦楽：読売日本交響楽団

スメタナ：交響詩「モルダウ」

シューマン：ピアノ協奏曲

ディーリアス：楽園への道

エルガー：行進曲「威風堂々」第1番

シベリウス：悲しきワルツ

ラヴェル：「ボレロ」

確かな技術と豊かな音楽性を兼ね備えた  
日本を代表する実力派ピアニスト

ピアノ：**仲道 郁代**

©Kiyotaka Saito

2017年 **3月4日(土)** 15時開演 (14時30分開場)

**千葉県文化会館** (JR「本千葉駅」より徒歩約10分)

**S ¥5,000 A ¥4,500** (全席指定・消費税込)

■未就学児のご入場は固くお断りいたします。  
■都合により演奏者及び曲目が変更になる場合がありますので予めご了承ください。

お申し込み  
お問い合わせ **読響チケットセンター 0570-00-4390** (10時～18時・年中無休/年末年始を除く) <http://yomikyo.or.jp/>

プレイガイド **千葉県文化会館 043-222-0201** [www.cbs.or.jp](http://www.cbs.or.jp/) / **千葉県東総文化会館 0479-64-2001**

**千葉市民会館 043-224-2431** / **千葉市文化センター 043-224-8211**

**千葉市男女共同参画センター 043-209-8771** / **千葉市若葉文化ホール 043-237-1911**

**千葉市美浜文化ホール 043-270-5619** / **京葉銀行文化プラザ 043-202-1790**

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団、公益財団法人千葉県文化振興財団 後援：公益財団法人千葉市文化振興財団



# 心震わすメロディと興奮のリズム!

## オーケストラを楽しみ尽くす休日の午後

日本のトップオーケストラの一つである読売日本交響楽団が、千葉で特別演奏会を開催します。オーケストラの醍醐味を存分に味わっていただこうと、〈ボレロ〉〈モルダウ〉〈威風堂々〉など、誰もが一度は耳にしたことがあるクラシック音楽の定番曲を並べました。指揮は、国際的に活躍するマエストロ尾高忠明。円熟のタクトでオーケストラをドライブし、熱い音楽を引き出します。休日の午後、温かく輝かしい響きに包まれ、心豊かなひとときを過ごしてみませんか?

同じリズムが繰り返されるラヴェルの傑作〈ボレロ〉は、小さな音からはじまり次第に高揚して、最後は大興奮のクライマックスを迎えます。各楽器のソロの美しさや全合奏での迫力のサウンドをご堪能ください。スメタナ〈モルダウ〉は、合唱曲への編曲などでも知られる名作で、祖国を愛したスメタナの思いが詰まった作品です。哀愁を帯びた旋律が、時を越えて私たちに懐かしい思いを抱かせてくれるでしょう。エルガー〈威風堂々〉第1番は、テレビやCMなどでも使われる有名曲。勇気が湧き出る力強いメロディが印象的に響きます。その他、イギリスの作曲家ディーリアスの歌劇「村のロミオとジュリエット」から、恋人が逢引をする美しい場面の音楽〈楽園への道〉や、フィンランドの作曲家シベリウスが弦楽器群をフルに生かした〈悲しきワルツ〉をお楽しみいただけます。

ロマン派のピアノ協奏曲の中でも人気のシューマンのピアノ協奏曲では、日本を代表するピアニストの仲道郁代が独奏を務めます。ドラマティックに始まり、ピアノとオーケストラが対話するようにメロディを華麗に歌いあげます。仲道の確かなテクニックと豊かな音楽性が遺憾なく発揮されることでしょう。



©読響



©Kiyotaka Saito

### ピアノ: 仲道郁代

Ikuyo Nakamichi, Piano

確かなテクニックと優れた音楽性を兼ね備えた実力派ピアニスト。

日本音楽コンクール第1位、ジュネーヴ国際コンクール最高位、エリザベート王妃国際コンクールと受賞を重ね、以後ヨーロッパと日本で演奏活動を展開している。1999年にはカーネギーホールでリサイタル・デビュー、2001年にはサンクトペテルブルク、ベルリン・フィルハーモニーホールで協奏曲デビュー。05年には英国チャールズ皇太子夫妻ご臨席のもとウィンザー城での「結婚祝祭コンサート」に出演し絶賛された。ベートーヴェン作品への取り組みは高い評価を得ており、07年度レコード・アカデミー賞を受賞。これまで、サラステ指揮フィンランド放送響、マゼール指揮ピッツバーク響、バイエルン放送響、フィルハーモニア管など一流楽団と数多く共演している。読響ともこれまでに多数共演。デビュー30周年を迎えた16/17年は、ゲヴァントハウス弦楽四重奏団やハンガリー国立フィルと共演した。リサイタルのほか、映像や語りを交えた幅広い世代向けの演奏会、テレビ、ラジオ出演など多彩な活動を展開。ソニー・ミュージックと専属契約を結び、多数のCDをリリースしている。http://www.ikuyo-nakamichi.com

### 指揮: 尾高忠明

Tadaaki Otaka, Conductor

国内外の名だたるオーケストラと共演を重ねる、日本を代表する名匠。1992年から98年まで、読響の第6代常任指揮者として数々の名演を生んだ。現在は名誉客演指揮者の地位にある。

桐朋学園で斎藤秀雄に師事した後、オーストリア政府から奨学金を受けてウィーン国立アカデミーに留学。名匠サヴァリッシュ、シュパンナーゲルらの薫陶を受け、1987年よりBBCウェールズ響の首席指揮者に就任。充実した活動で評価を確立した。これまでに東京フィル常任指揮者、札幌音楽監督、メルボルン響首席指揮者、新国立劇場オペラ芸術監督などを歴任。現在BBCウェールズ響桂冠指揮者、N響正指揮者などを務めている。ロンドン響、ロンドン・フィル、BBC響、バーミンガム市響、ベルリン放送響、フランクフルト放送響などへ客演。91年度、第23回サントリー音楽賞受賞。97年英国エリザベス女王より大英勲章CBEを、99年には英国エルガー協会より日本人初のエルガー・メダルを授与。レコーディングにも精力的で、BBCウェールズ響等とNimbus、BISレーベルなどに数多くの優れた録音を残している。東京藝術大学音楽学部指揮科名誉教授、京都市立芸術大学及び相愛大学客員教授、国立音楽大学招聘教授。

2017年 3月4日(土) 15時開演

千葉県文化会館 大ホール (JR「本千葉駅」より徒歩約10分)  
S ¥5,000 A ¥4,500

■未就学児のご入場は固くお断りいたします。 ■都合により演奏者及び曲目が変更になる場合がありますので予めご了承ください。

お申し込み  
お問い合わせ

読響チケットセンター 0570-00-4390

■ 10:00-18:00 年中無休/年末年始を除く

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

■ 座席選択してチケットをご購入いただけます。(一部、携帯電話、スマートフォンなどを除く)  
■ 郵送でチケットを受け取る場合、送料は無料です。

プレイガイド

■千葉県文化会館 043-222-0201 [www.cbs.or.jp](http://www.cbs.or.jp) ■千葉県東総文化会館 0479-64-2001

■千葉市民会館 043-224-2431 ■千葉市文化センター 043-224-8211

■千葉市男女共同参画センター 043-209-8771 ■千葉市若葉文化ホール 043-237-1911

■千葉市美浜文化ホール 043-270-5619 ■京葉銀行文化プラザ 043-202-1790